

住宅改修・事例紹介 4

はんどで施工した事例をご紹介します。
ぜひ、参考資料としてお役立て下さい。



浴槽への出入りを安全に行いたい

このようなことでお困りでした

木造住宅に一人で暮らしていらっしゃいます。自宅の浴槽は、深くて小さいものでした。膝の関節が痛いのを我慢して、足を曲げた状態で入浴していましたが、とても辛かったようです。さらにタイルが滑りやすく、転倒しそうだったので『一人でも安心して入浴できるように、浴室を改修してほしい』とご相談いただきました。



M様（女性）70代
要支援1

膝関節症と腰痛により、移動の際には時間がかかります。杖歩行されていますが、痛い方の足をかばうように歩くので、腰や膝への負担も増していました。

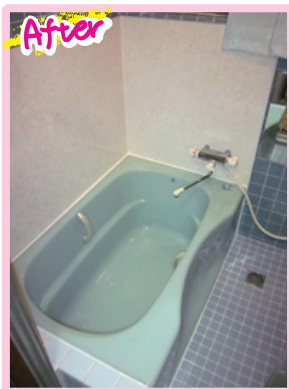
Before & After



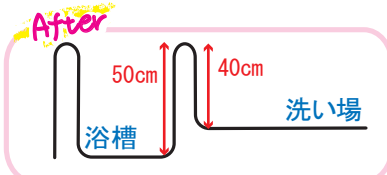
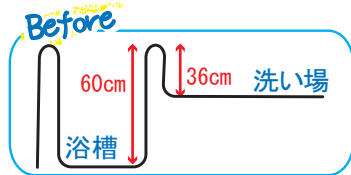
既存の浴槽を撤去し、浅くて広い浴槽に取り替えました。以前の浴槽底面の長さは80cmしかなく、膝を曲げて入浴していましたが、新しい浴槽は100cmあるので足をのばして入れます。



滑りやすいタイルの上に、すのこを敷いて入浴していましたが、浴槽の取り替えと同時に、滑りにくいタイルに貼り替えました。さらに、小さめのタイルにすることで、タイルの継ぎ目の間隔が狭くなり、滑り止め効果が増します！



浴槽が深く出入りが困難でした。施工後は、浴槽のフチまでの高さが、洗い場側・浴槽側ともにバランスよく安全になりました。



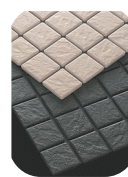
POINT

浴槽が大きくなると浴槽内での、姿勢が不安定になります。そのため、浴槽内に手すりがあり、底面に滑り止め加工が施してある浴槽を選定しました。



POINT

浴室のタイル貼り替えには、表面がザラザラして滑りにくいものを使用します。小さめのタイル（50mm角）にすると、緩やかな勾配で敷き詰めることができるので安全性が高くなります！



施工後の感想

今までの浴槽は、深くて狭くて入浴が大変でした。新しい浴槽に取り替えてから、とっても楽に入浴できますし、足をのばして湯船につかれるのがうれしいです！タイルも滑りにくくなり、一人でも安心して入浴できるようになりました♪

